

## 国語科学習指導案（略案）

平成 25 年 2 月 1 日 金曜日 2 校時  
 中 学 部 C グ ル ー プ  
 男 子 5 人 女 子 1 人 計 6 人  
 場 所 中 学 部 1 年 教 室  
 指 導 者 甫 立 将 章 (CT) 中 村 雄 治 郎 (ST)

### 1 題材 「登場人物の様子や気持ちを考えて読もう」（教材名：「カボチャ」）

### 2 本時の学習（2／10）

#### (1) 全体目標

登場人物の動作やせりふを正しく読み取り，友達と役割を決めて読むことができる。

#### (2) 個別の指導計画と個人目標

生徒	個別の指導計画の目標	個人目標
A (1年, 男)	文章を読むことに興味をもち，感想を発表することができる。	○ 登場人物の動作やせりふを教師と一緒に探して印を付け，自分が読みたい人物を選んで声を出して読むことができる。
B (1年, 男)	助詞に気を付けながら文を正しく読み，内容について説明することができる。	○ 動作やせりふを登場人物ごとに分類し，助詞に気を付けながら，正しく音読することができる。
C (1年, 男)	文章を読み，自分の気持ちや伝えたいことを整理して，発表することができる。	○ 登場人物の動作やせりふを教師と一緒に探して印を付け，自分が読みたい人物を選んで友達に聞こえる声の大きさとで読むことができる。
D (1年, 女)	主語と述語を対応させながら，物事や自分の気持ちなどを順序よく話すことができる。	○ 動作やせりふを登場人物ごとに分類し，担当した登場人物の気持ちを考えながら友達と一緒に音読することができる。
E (2年, 男)	文章を読み，書かれていることについて正しく答えることができる。	○ 動作やせりふを登場人物ごとに分類し，担当した登場人物の気持ちを考えながら友達と一緒に音読することができる。
F (3年, 男)	5W1Hなど，質問の意図を理解し，質問に即した内容を答えることができる。	○ 動作やせりふを登場人物ごとに分類し，担当した登場人物の気持ちを考えながら友達と一緒に音読することができる。

#### (3) 指導及び支援に当たって

##### 学習活動の概要

生徒たちは，前時の学習で教材文を通読し，語句の意味調べや初発の感想をまとめて発表することで交流を行い，学習に対する見通しをもっている。本時では，内容の理解を深めていくために，登場人物ごとに動作や発言を分類する学習活動を中心に設定している。

##### 教材・教具とのかかわりについて

文章中の注目箇所について，言葉による指示をただけでは注目することが難しい生徒への配慮から，プロジェクターを使って物語文をスクリーンに映し出す。また，生徒が作ったペープサートや面を使用することで，登場人物の発言や気持ちについて想像しやすい工夫をする。

##### 友達・教師とのかかわりについて

物語を読む際，教師の朗読を聞くだけでなく，役割音読や群読を取り入れることで，友達の音読を聞くことを意識し，読む力と併せて聞く力を育てるようにする。

##### 自分とのかかわりについて

登場人物の動作やせりふについて，登場人物ごとに蛍光ペンで色分けする学習活動を設定することで，教材と向き合いながら自分ができていることを視覚的に確認できるようにする。

##### 授業環境の工夫

座席位置については，黒板やスクリーンが見えやすいことと併せて，生徒同士が互いの顔を見ながら感想や意見が交換できるように工夫する。

(4) 実際

過程	主な学習活動	指導及び支援上の留意点	資料・準備
導入 (10分)	1 始めの挨拶をする。  2 前時の学習を振り返る。 (1) 黙読をする。 (2) 登場人物を確認する。  3 本時のめあてについて話し合う。  動作やせりふを分けよう。	<ul style="list-style-type: none"> <li>挨拶の号令をする生徒を決め、姿勢を正したり、教師も一緒に合図をしながら挨拶をしたりすることで、生徒が学習の始まりを意識することができるようにする。</li> <li>教材文を群読することで、前時の学習を想起できるようにするとともに、友達と一緒に学習することを意識できるようにする。</li> <li>ペープサートを用いることで、物語の登場人物を視覚的に認識できるようにする。</li> <li>板書しためあてを声に出して読むように言葉掛けをする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教材文</li> <li>ペープサート</li> </ul>
展開 (35分)	4 登場人物の動作やせりふを分類する。 (1) 群読をしながら、動作やせりふを登場人物ごとに分類し、印を付ける。  (2) 黙読をしながら、動作やせりふを登場人物ごとに分類し、印を付ける。 (3) 分類した登場人物ごとの動作やせりふを発表する。  5 役割音読をする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>最初は群読をしながら、分類の方法を一緒に確認し、学習の方法や目的を理解することができるようにする。</li> <li>A, Cに対しては、物語文はスクリーンに映し出し、句点ごとに色を変えて表示することで、どこを読んでいるか分かるように視覚的支援を行う。</li> <li>動作やせりふを表す文に蛍光ペンで線を引くように指導する。その際、登場人物ごとに色を変える様子をスクリーンに映し出すことで、方法の理解を促す。</li> <li>CTは生徒の発表を聞きながら、「誰」が「何をした(言った)」か視覚的に分かるようにペープサートと吹き出しを用いて板書する。</li> <li>STは主にAとCの活動の様子を見ながら、必要に応じて言葉掛けや文を指でなぞるなどの支援を行う。</li> <li>B, D, Fに対しては、友達の発表を最後まで聞くことができるように、発表時のルールを確認する。</li> <li>3人組を作り、誰がどの役を担当するか話し合う時間を設け、自分の役割が意識できるようにする。</li> <li>登場人物の面をかぶることで、登場人物の気持ちを考えながら読むことができるようにする。</li> <li>読み手と聞き手、それぞれの感想を発表する時間を設け、自分の考えや気持ちをまとめながら自分や友達と向き合うことができるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>プロジェクター</li> <li>スクリーン</li> <li>プレゼンテーションソフト</li> <li>蛍光ペン</li> <li>ペープサート</li> <li>吹き出し</li> <li>登場人物の面</li> </ul>
終末 (5分)	6 学習の振り返りをする。  7 次時の学習について知る。  8 終わりの挨拶をする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>本時の学習を振り返り、自分のできたことや課題を確認できるようにする。</li> <li>登場人物の言動が変化していることについて問題を提起し、次時への意欲や関心を高めることができるようにする。</li> <li>挨拶の号令をする生徒を決め、姿勢を正したり、教師も一緒に合図をしながら挨拶をしたりすることで、生徒が学習の終わりを意識することができるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教材文</li> <li>ペープサート</li> </ul>

(5) 評価

登場人物の動作やせりふを正しく読み取り、友達と役割を決めて読むことができたか。